

平成29年3月10日

第3学年 保護者様

横浜市立豊田小学校
校長 瀬尾 芳保

平成28年度 横浜市学習状況調査の調査結果について

本年2月（平成28年度）、横浜市学習状況調査が実施されました。その目的とするところは、

- 横浜市教育委員会は、学力向上を目指し、学習状況を生活意識などと絡めて分析的・総合的に把握すること
- 各学校は、教科指導や教育評価などの改善に生かすこと
- 児童生徒は、学力向上に向けて自己評価や自らの学習の改善などに生かすこと

となっております。個々の児童の調査結果については、本日、全校一斉に「自己確認表」と「自己確認表の見方」を各ご家庭に配布しました。これまでの学習内容の理解の状況や学習方法を振り返り、さらに意欲的に取り組めるようにご活用いただければと思います。

次に、本校児童の学習状況についてですが、市平均とともに各学年、各教科、観点別、領域通過率として調査結果がまとめられました。各学年の考察から、改善が必要とされる内容につきましては、次年度へ引き継ぎ、指導改善を図っていきます。

<よいと考えられる状況>

- 国語
 - ・話すこと、聞くことの問題は、概ね定着している。
 - ・漢字の読みは概ね定着している。
- 算数
 - ・数量や図形についての技能は概ねできている。
 - ・数と計算、量と測定、図形などの知識、理解の定着が見られる。
- 理科
 - ・昆虫と生物の観察や、電気の通り道、磁石の性質の実験などの技能については、概ね理解している。
- 社会
 - ・地図や資料などを読み取る技能は、概ねできている。

<指導及び改善が必要とされる内容>

- 国語
 - ・「書く」に関して情報量が多いと整理して書くことが難しい。
 - ・漢字を正しく書いたり、ローマ字を読み取ったりすることは、弱い。
- 算数
 - ・学習した内容を活用して、数学的に考える力が弱い。
- 理科
 - ・事象を比較したり関係づけたりして考察する力が弱い。

学校ではこれまで以上に、子どもが興味・関心をもって取り組み、「学習が楽しい」と言えるように授業改善を図っていきたいと思います。併せて、子どもの学習環境をよりよいものにしていくために、ご家庭・地域のご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。